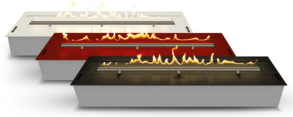
FLA 3 XL in Casing A

長時間燃焼を可能にした燃料タンク別体型

特徴

- ※BEVテクノロジー採用
- 電動給油ポンプ付き
- LED液晶パネル
- 高機能安全センサー
- 炎の高さ調整　6段階可能
- 別体燃料タンクで、長時間燃焼可能
- Wifi接続で、スマホ、タブレットで操作可能
- リモコン付き
- 長さのオーダー可能
- オプションでRALカラー、シェイプオーダー可能
- オプションで外付け温度センサー

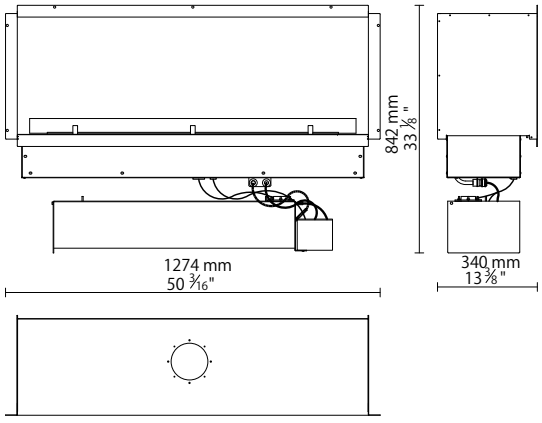
※BEV テクノロジーとは　燃焼効率を高めるプラニカの技術



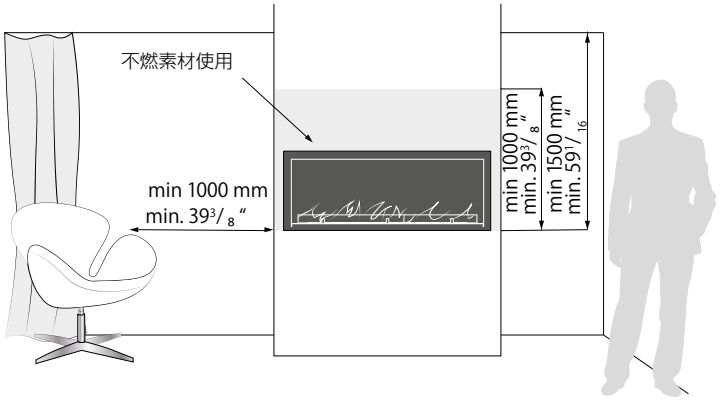
仕様

	FLA 3 XL in Casing A
燃料タンク容量	24 L / [US] 6,34 gal / [UK] 5,28 gal
継続燃焼時間	13,5 - 30 h
熱効率	5,0 - 1,2 kW / 17037 - 38334 BTU
重量	50 kg / 110 lbs
換気	min. 1/h
最小部屋容積	112,3m³orplease contact our Project Department for details
電源	100 V (electric supply)
Finish	FIREPLACE:　brushed stainless steel / optional: RAL colours / black powder coated steel CASING : black powder coated steel, GLASS SHIELD　: tempered　glass OPTIONAL FRAME: brushed stainless steel / optional: RAL colours / black powder coated steel

寸法



設置離隔距離等



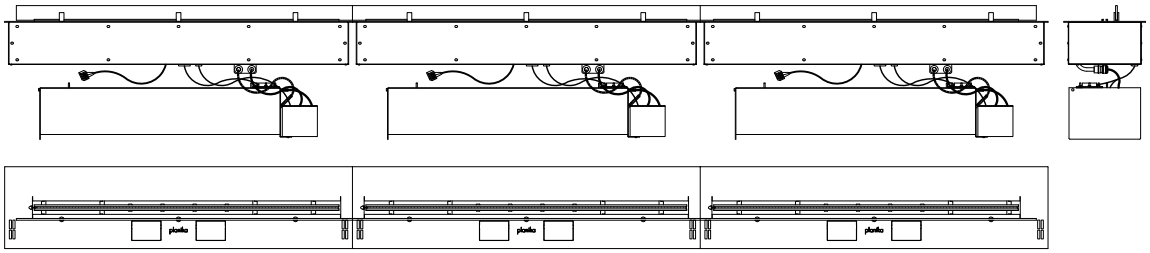
FLA 3 XL in Casing A

カスタムオーダー可能

プラニカはお客様の声を可能な限り製品に反映させることができるように、オーダーも承ります（色、長さ、シェイプ等）

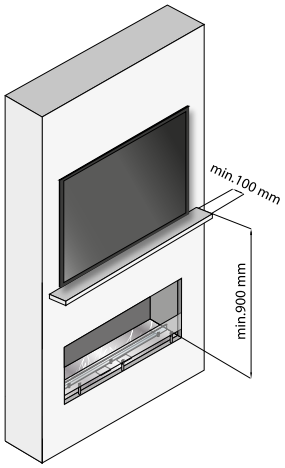
ユニットを繋げて長いバイオエタノール暖炉の製作可能です

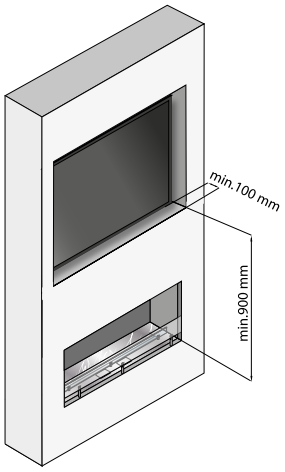
複数台の暖炉を繋げる事ができます。操作は一台のコントロールパネルで行えます。

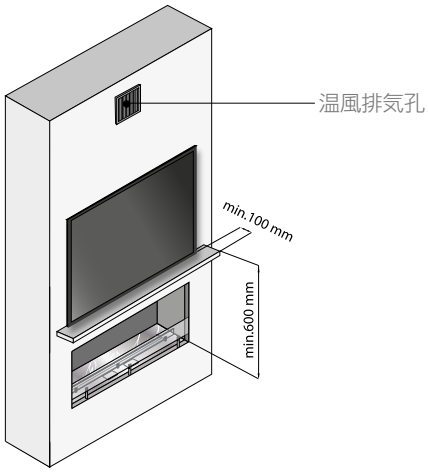


TV下部に暖炉をつける際の離隔距離等

不燃素材で壁を構築してください。壁を貼る間柱は軽鉄材で構築してください。







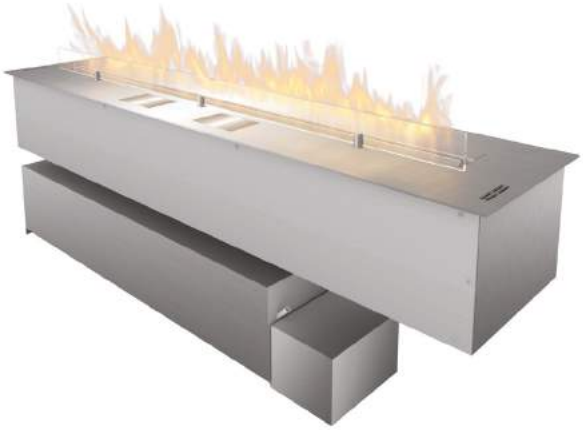
壁内に排気管を作って排気孔から温風を
排出する仕組みです

上記図はプラニカ社のケーシングを使用した際の離隔距離です。
自作される場合は、火室の素材を不燃材で構築することが必要です。必ず当社までご相談ください。

相談先　092-534-8111

FLA3 XL

長い燃焼時間を可能にしました



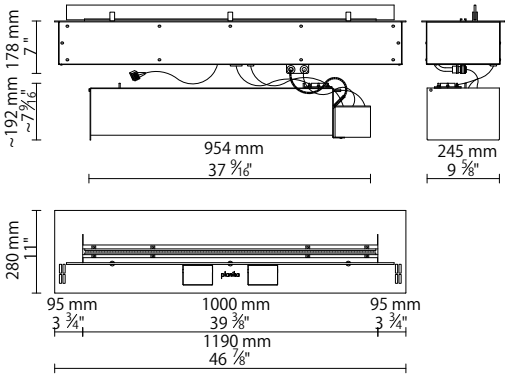
特徴

- BEVテクノロジー搭載
  燃料タンクとバーナー部の接触無し（安全）
  ※BEVとは
- 自動給油システム
- 液晶コントロールパネル
- 各種安全センサー付き
- 炎の高さ調整（6段階）
- 本体ジョイント可能
- 超大型燃料タンクで
  長時間燃焼可能
- エラー発生時に
  リモートコントロールで調整
  ※事案によります
- wifi接続でスマホコントロール可能
- リモコン付き
- 長さをカスタムオーダーできます
- オプションでRALカラーとシェイプオーダー可能
- オプションで外部温度センサー設置可能
- オプションでフレームカラー選べます

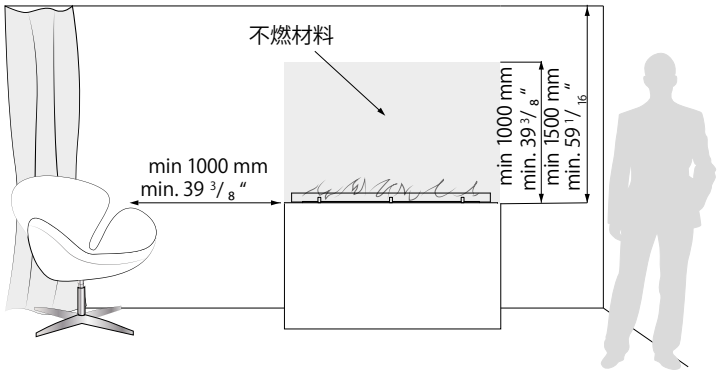
テクニカルデーター

	FLA 3 XL
燃料タンク容量	24 L / [US] 6,34 gal / [UK] 5,28 gal
燃焼時間	13,5 - 30 h
熱出力	5,0 - 1,2 kW / 17037 - 38334 BTU
重量	38 kg / 84 lbs
換気	min. 1/h
最小使用体積	112,3 m³　詳細はお問い合わせください
電源	100 V (electric supply)
仕上げ	暖炉本体:　ヘアラインステンレス / optional: RAL colours / black powder coated steel ガラスシールド部　：強化ガラス

寸法



設置要件



http://planikafires.jp/

ETHANOL INDOOR

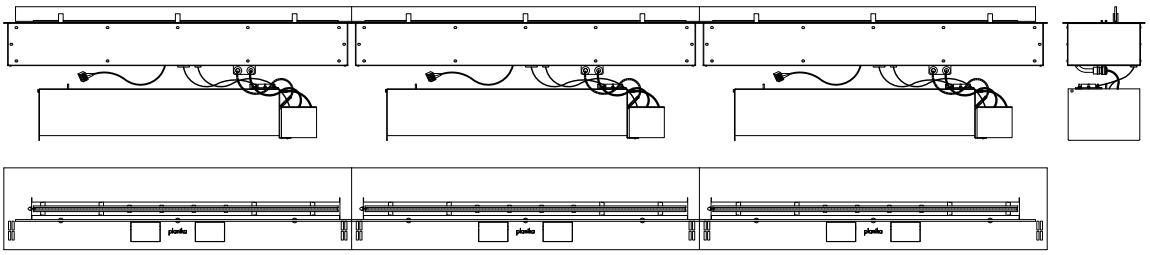
FLA3 XL

オーダー可能

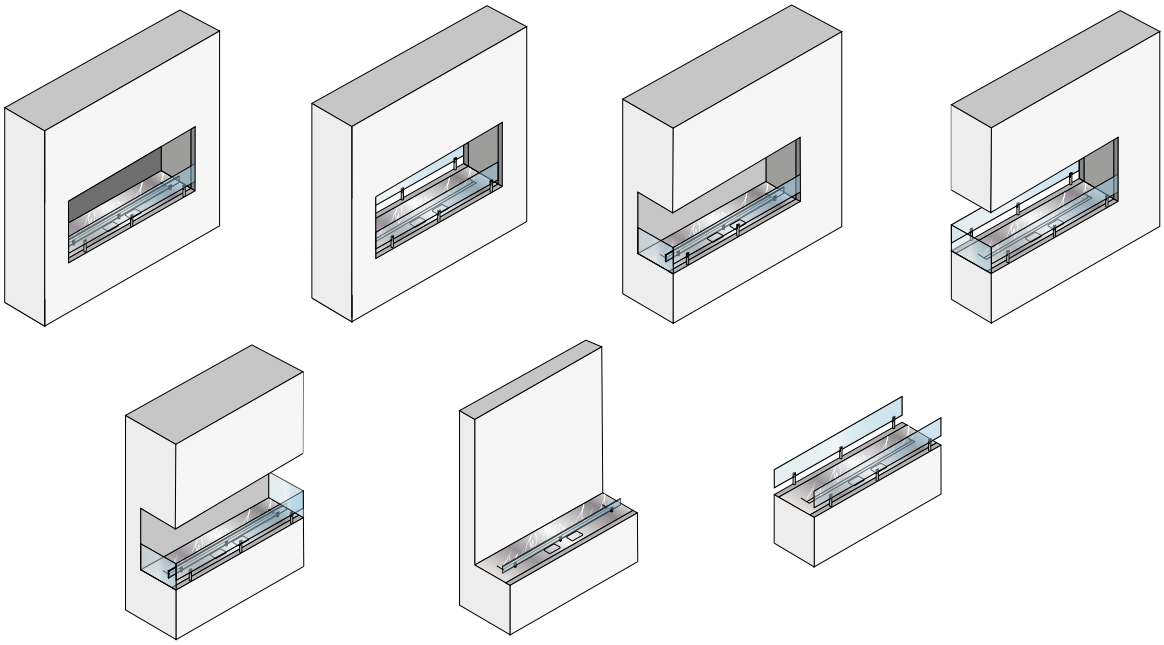
Planikaはお客様のリクエストや期待に応えるために、別注モデルもオーダー受付します（要求内容によってはできない場合があります）

ジョイントすれば長くできます

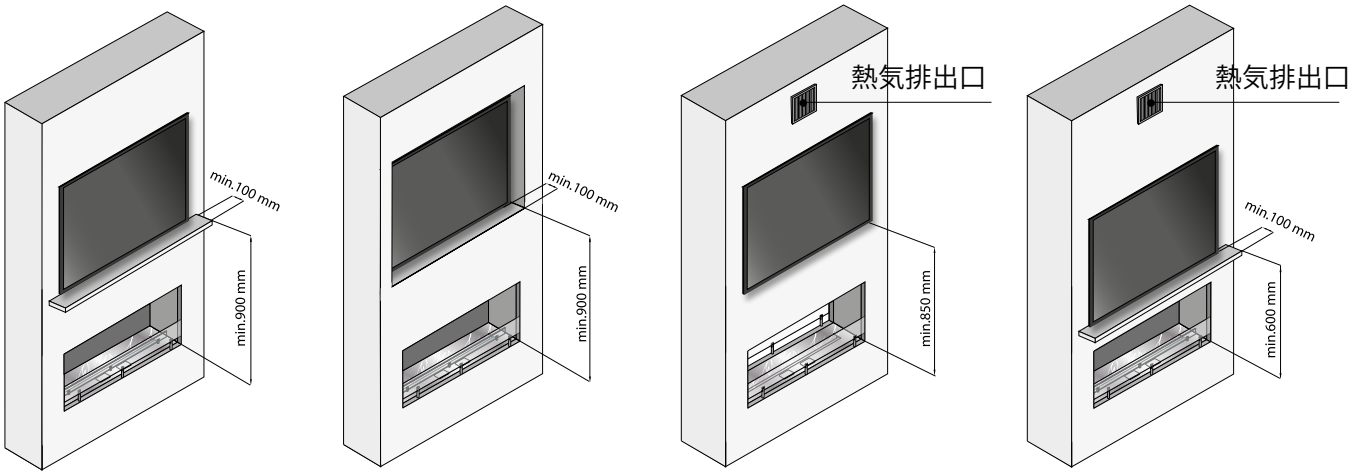
より長い火線が必要な場合は、複数のユニットをまとめることもできます。それらを1つのリモコンで操作することができ、
お客様は右モジュール、中モジュール、および左モジュールのいずれかを選択してコントロールできます。



設置例



TVの下部に暖炉を設置する場合の設置要件



planika
INTELLIGENT FIRE

ユーザーズマニュアル

Fire Line Automatic 3XL

FLA3 XL

Manufactured by
Planika Sp. z o.o.
ul. Bydgoska 38
86-061 Brzoza
Poland

よく読んで頂き、正しくお使いください

マニュアル

目次

I.安全性 ---- 3
II. メニュー ---- 4
1)デバイスIP ---- 4
2)WIFI 接続 ---- 4.5.6.7.8
3)MTZモード ---- 9
4)本体（デバイスをロックする ---- 9
5)チャイルド ロック ---- 10
6)設定時間 ---- 10
7)リモートコントロール ---- 11
8)ON-OFF表示 ---- 11
9)クイックスタート ---- 11
10)シリアル番号 ---- 12
11)ソフトウェア ---- 12
12)履歴（ヒストリー） ---- 12
III.操作 ---- 12
1)操作について ---- 12
2)装置の起 動 ---- 13.14
3)火のサイズについて ---- 15
4)スリープ機 能 ---- 16
5)本体の消灯 ---- 16
6)OFF後の本体の再起動 ---- 16
7)スイッチオフ ---- 16
8)情報および警告アラート ---- 17.18
IV.本体 のお手入れ ---- 19
V.燃 料 ---- 19
VI.廃棄およびリサイクル ---- 19
VII.サービス ---- 19
VIII.品質 ---- 19

設置マニュアルに続く ---- 20.21.22.23.24

I. 安全性

当製品は、炎をインテリアとして楽しむためのものです。そのため、本体を適切かつ安全に保守し、品質を維持するために、火気のルールを遵守しご使用ください。

警告

·設置、および使用前に、すべてのマニュアルをお読みください。
·本製品は、マニュアルに記載されているガイドラインと要件に従って設置する必要があります。
·この暖炉は、熱、水蒸気、二酸化炭素（CO2）を放出します。設置マニュアルに記載されているように、部屋の容積と換気を確保してください。
·複数の暖炉を同じ部屋に設置する場合は、必要な部屋の容積は各デバイスの最小の推奨容積の合計値になります。
·装置は水平な場所に設置し、揺れが無いように取り付けてください。
揺れなどで装置内に燃料がこぼれた場合センサーが作動し自動OFFになります。それが起こると、燃料が本体内から完全に蒸発するまで本製品は作動しません。
·マニュアルに従い正しく設置してください。
·装置の近くに二酸化炭素または化学薬品消火器を置くことが義務付けられています。
·光るコイルの温度は1300℃に達します。この本体がオンになっている状態でこのデバイスに触れると、火傷の危険性がありますのでご注意ください。
·本製品の稼動中、リーベンバイオエタノール燃料の匂いがします。

禁止事項

· 燃料が入ったまま本製品を移動する。本体を移動する前に、残留燃料を使い切り、本体が冷えるまで待ってください。その後電源を切ります。
·バイオエタノール燃料を燃焼部分に直接注ぐと、本体が破損し、火災の原因となります。
バイオエタノール液を燃焼部分に入れた場合、急激な発火の原因となり、火災や火傷の原因となります。
人生への危険。
·装置を始動する前に、バイオエタノール液体を予熱する。
·バイオエタノール燃料が容器からこぼれ落ちた場合は、装置を起動させないでください。
·バイオエタノール燃料は飲まないでください。
·バーナー（燃焼部）の内部を改造すると、火傷、装置の損傷または火災の原因となることがあります。
本体の一部は高温になります。
·火傷の原因となる可能性があるので、バーナー（燃焼部）に触れないでください。
·本体の構造を自分で変更または修理する。
修理は当製品を修理するように訓練された人に限ります。
·本体を覆えば火災の原因となる可能性があります。
·本体の表面には何も置かないでください。
·大人の監視無しでは稼動させないでください

必須事項

·設置マニュアルに記載されている規則に従って装置を設置してください。
·部屋の正確な立方体容積を把握してください。本製品は熱、水蒸気、二酸化炭素を放出しますので稼働中は室内の換気を行なってください。（1回/1時間程度）
·子供や老人の手が届かないように設置してください。
·バイオエタノール燃料が目や肌に付いたら素早く水で洗い流してください。

II メニュー

READYまたはNO FUELメッセージがディスプレイに表示されている場合は、お客様のメニューにアクセスできます。
これをする、'+'ボタンを8秒間押し続けると、ディスプレイにメニューが表示されます。

メニューは操作パネルのボタンでのみ操作できます。カテゴリ間を移動するには'+'を使用し、特定のカテゴリを選択するには ' - 'を使用します。
5秒以上何も操作しないとメイン画面に戻ります。

1）Device IP　（デバイスIP）
Device IPを選択して「 - 」ボタンを押すと（WiFi接続が正常に行われていれば設定された）デバイスのIPが表示されます。
携帯端末（タブレット、パソコン、スマートフォン）IPを知る必要があります。

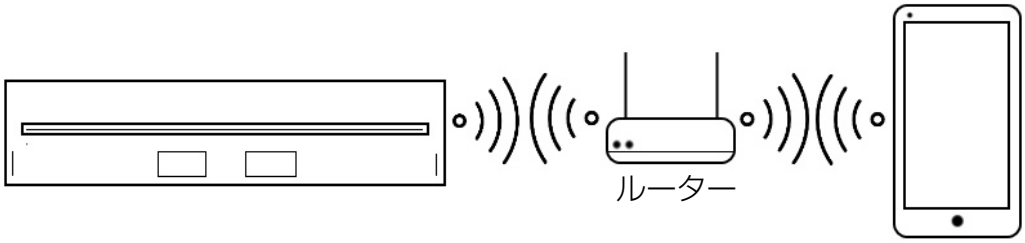
2）WIFI　CONFIG　（WIFI接続）
WiFi CONFIGは、FLA3#4.0をモバイルデバイス（スマートフォン、
タブレット、ラップトップなど）。モバイルデバイスには、WiFi接続とインターネットを装備する必要があります。

携帯端末では次の操作が可能です
- 着火
- 消火
- 炎の高さ調整
- 装置のロックおよびロック解除
- 複数の連結されたFLA3XL ペアをコントロールする。
　FLA3XL とモバイルデバイスとの接続は、ワイヤレスネットワークを使用することで設定でき、使用が可能になります。

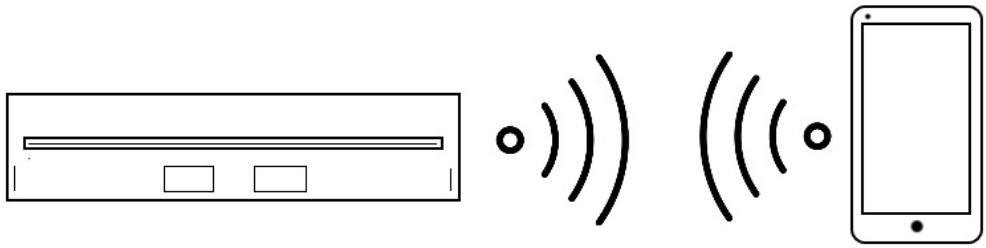
構成プロセス
接続タイプの選択
設定の最初のステップは、どのタイプの接続が最も適しているかを決めることです。

1、モバイルデバイス（スマホ等）を使用する方法
2、ルーターを使用する方法

ルーターを使用する場合はSSIDとそのネットワークパスワードが必要になります。
また、複数のモバイルで操作できる利点があります。



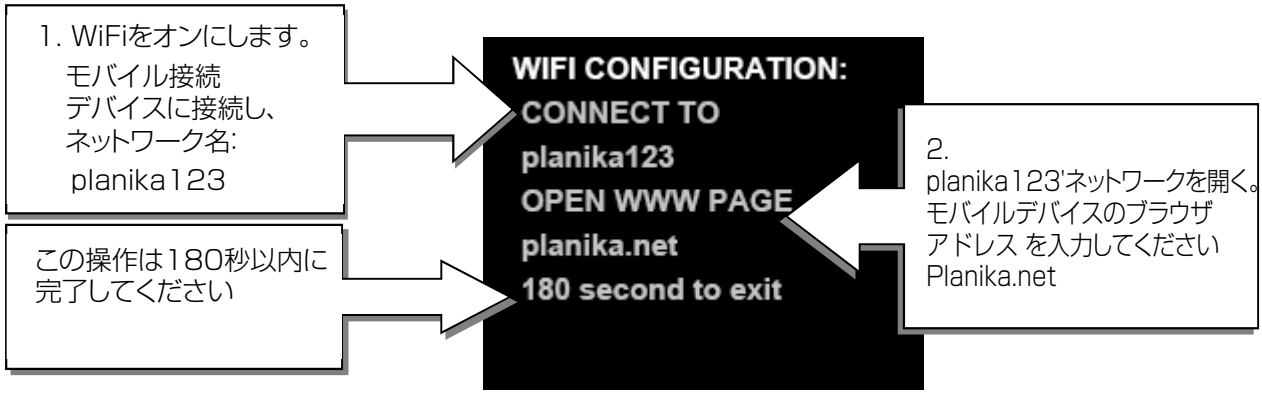
b）AP接続:FLA3XLをスマホなどのモバイルデバイスに直接接続します。このタイプの接続では
FLA3XLは独自のネットワークを作成します。ネットワークを作成するには、名前を付けてパスワードを
入力する必要があります。



2)wifi設定(wifi config)

「+」ボタンを押し続けてクライアントのメニューに入ります。
コントロールパネルを8秒間押してください。オプションのリストが表示されます。
クライアントのメニューをナビゲートするには、"+"キーを押してください。
選択したオプションが赤で強調表示されます。
選択したオプションに入るには、コントロールパネルの " - "ボタンを押します。
WIFI CONFIGオプションを選択し、" - "でそれを確認してください。

指示画面が表示されます。指示に従ってくだ



1.携帯端末でWIFI接続をオンにしてください（スマートフォンやiOS端末で設定で見つかります）。
利用可能なネットワークから "planika123"を選択してください。このネットワークは保護されていないため、
パスワードは必要ありません。接続が成功した後のほとんどのモバイルデバイスでは、アイコン
現れます。そうでない場合は、プロセス全体が180秒以上持続しないのでご注意ください。
（この時間後にアイドル状態の場合、ネットワークは自動的に閉じられます）。

2.接続が成功したら、モバイルデバイスのブラウザにアクセスし、アドレスを入力してください:
（planika.net）

モバイルデバイスがネットワークに正しく接続されている場合は、以下の画面が表示されます。

この画面は、デバイスの追加設定に使用されます。それは、
FLA3XL　を操作してください。
設定プロセスを続行するには、設定に進みます。

SETTING

これが設定画面です。ここで
STAとAPのモードを選択できるようになります。

セキュリティタイプを選択し、
既存のネットワーク名とパスワード(STA
モード)を入力するか、新しい
ネットワークとパスワード(APモードで)を入力
してください。

STAモード=wifiの子機
APモード=wifiの親機

設定画面は、ネットワーククレデンシャルを入力するために使用されます。入力した名前パスワードは正しいです。正確なスペル、大文字、スペースを確認してください。MODEでオプションOFFを選択すると、FLA3XL とのすべてのワイヤレス接続をブロックすることができます。SUBMITボタンをタップします。

最後のステップは、デバイスIPをモバイルデバイスのブラウザに入力することです。
モバイルデバイスが同じネットワークに接続されている場合、コントロールパネルが表示されます。

警告!

•割り当てられたIPアドレスは動的アドレスであり、ネットワーク変更の際に変更される可能性があります。

•上記の手順が180秒以内に実行されない場合、WIFI設定は自動的にシャットダウンします。

コントロールパネルがデバイスに表示されます：

リストから
デバイスを選択して
ください。

ロックを有効にするデバイス '機能(参照:ユーザーズマニュアル - > II顧客のメニュー - > 4。

MANAGER機能により、構成されたバイオデバイスを無制限に制御することが可能です。

1. STAモードの手順

このモードを構成するには、ネットワーク情報が必要です。セキュリティタイプ（OPEN、WEPまたはWPA）、名前（SSID）、およびパスワードを入力する必要があります。
新しい接続が作成されます。
WIFIアイコンが モバイルデバイスの画面から消えます。FLA3#4.0は自動的に名前がSSID_NAME フィールドに入力されたネットワーク。モバイルデバイスは、名前が入力されたネットワークに接続する必要があります。接続に成功すると、WIFIアイコンが再び表示されます。

設定を終了するには、デバイスのIPアドレスをお読みください。
これはクライアントのメニューにあります。それにアクセスするには "+" ボタンを8秒間押してから、デバイスIPにスクロールします
"+"を押して " - "で確認してください。
デバイスIPが画面に表示されます。（192.168.1.1など）。
この番号を覚えておいてください。デバイスIPは
ネットワーク内のFLA3#4.0のアドレスになります。

設定の最後のステップは、デバイスを入力することですIPをモバイルデバイスのブラウザに送信します。モバイルデバイス同じネットワークに接続されている場合、コントロールパネルはあなたの画面に表示されます。

2. APモードの手順

APモードでは、モバイルデバイスへのワイヤレス接続でFLA3#4.0に直接接続できます。
設定できるモバイルデバイスは将来的にも1つだけですのでご注意ください。
APモードでは、FLA3#4.0にユーザー名とパスワードを使用してネットワークを作成するよう指示します。
まず、セキュリティタイプを選択する必要があります。WEP（古い）とWPA2（新しいタイプ）。

·WEP標準セキュリティでは、ネットワークに5文字のパスワードが必要です。
·WPA2標準では、ネットワークに少なくとも8文字のパスワードが必要です。

APモードでは、セキュリティをオフにすることはできません。
SSID_NAMEフィールドにネットワーク名を入力する必要があります。
必要なパスワードも入力してください。
すべての必須フィールドを入力したら、submitをタップしてください。
新しい接続が作成され、現在の一時接続が閉じられます。WIFIアイコンは
モバイルデバイスの画面から消えてしまいます。
FLA3#4.0は自動的に
名前がSSID_NAMEフィールドに入力されたネットワークを使用します。
モバイルデバイスは、名前が入力されたネットワークに接続する必要があります
SSID_NAMEフィールド以前の設定。接続に成功すると、WIFIアイコンが再び表示されます。

設定を終了するには、デバイスのIPアドレスの項目を表示させてください。
これはクライアントのメニューにあります。それにアクセスするには、コントロールパネルの "+"ボタンを8回押してください「+」を押してデバイスIPオプションまでスクロールし、それを " - "で確認する。
デバイスのIPが画面に表示されます。
それは、ドットで区切られた4つの数字の形式（192.168.1.1など）この番号を覚えておいてください。
デバイスIPはネットワーク内のFLA3#4.0のアドレス。

3)MTZモード

本機では使用できません

4)デバイスをロックする

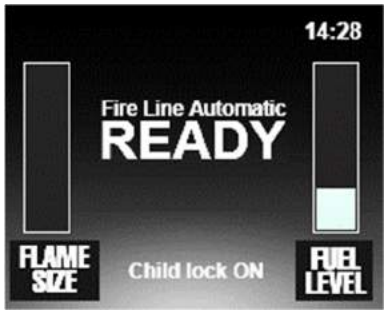
デバイスをロックし、' - 'ボタンを押すと、ディスプレイパネルに次のように表示されます:

この機能を使用すると、権限のない人がデバイスを操作しないようにロックできます。
デバイスのロックを解除するには、「START / STOP」ボタンを5秒間押し続けてください。

5）チャイルドロック

Child Lockを選択して「 - 」ボタンを押すと、ディスプレイパネルに次のように表示されます:

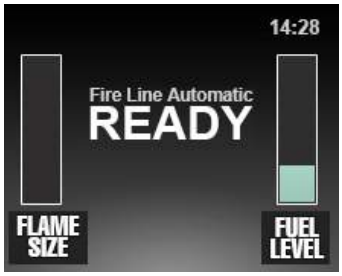
機能がオンになると、ユーザーはコントロールパネルまたはリモコンの "START / STOP"ボタンを3秒間押し続け、デバイスを起動します。"START / STOP"ボタンを1回だけ押すと、デバイスは起動しません。
' - 'ボタンを使用すると、"ON"オプションが赤く点滅します。「チャイルドロック」というメッセージがメインに表示されます。



この機能を無効にするには、「チャイルドロック」メニューの「オフ」を選択します。

6）時間を設定

時間を設定し、' - 'ボタンを押すと、メイン画面の時桁が点滅し始めます。'+'を使用するボタンで正しい時間を設定し、
' - 'ボタンで確認してください。分と日付を設定するには同じ操作を行い、'+'は正しい数字を選択し、確認するには ' - 'を押します。
設定が完了すると、デバイスは自動的に表示されます選択した時間でホーム画面に戻ります。



7)リモートコントロール

リモコンが選択され、' - 'ボタンで確認された場合、ディスプレイパネルに次のように表示されます:

付属のリモコンはすでにプログラムされています。この機能は、必要に応じてリモートコントロール、または複数のFLA3XLを制御するかどうかを確認します。' - 'ボタンを押して確定します。次にシーケンスを押してください（次のメッセージが表示されるまで押し続けてください）。"START"、"STOP"、"プラスマイナス"。リモートがプログラムされた後、メッセージは消え、ホームスクリーン表示されます。

8)表示/非表示

この機能により、ディスプレイは "READY"、"WORKING"および "NO FUEL"モードで点灯したままになります。ディスプレイが暗くなり、最終的にオフになります。機能がオフになると、ディスプレイは自動的にオンになります "READY"、"WORKING"、"NO FUEL"モードで20秒後に消灯します。

機能をオフにするには、'+'ボタンを押して ' - 'で確定します。デバイスは自動的に戻ります。機能表示をオフにしてホーム画面に移動します。

9)クイックスタート

ファーストスタートを選択し、' - 'ボタンを押すと、ディスプレイパネルに次のように表示されます:

「クイックスタート」機能がオンの場合、炎が早く立ち上がります。FLA 3#4.0は自動的に「クイックスタート」機能がオンに設定された状態でプログラムされます。「オフ」にしたい場合、「+」ボタンを使用して「オフ」を選択し、「 - 」ボタンで確定します。自動的にHOME画面に戻ります。「クイックスタート」機能がオフの状態で画面に表示されます。このクイックスタートを有効にするには、「クイックスタート」機能のメニューで「オン」を選択します。

警告! 「ファーストスタート」機能がオンになると、
デバイスは約100Wを使用して温度を維持します。ボタンを使ってデバイスをオフにしても、「ファストスタート」機能はオフになりません。デバイスが存在しない場合長時間使用すると、ファストスタート機能をオフにすることをお勧めします。

注意）工場出荷時は「ON」になっています。

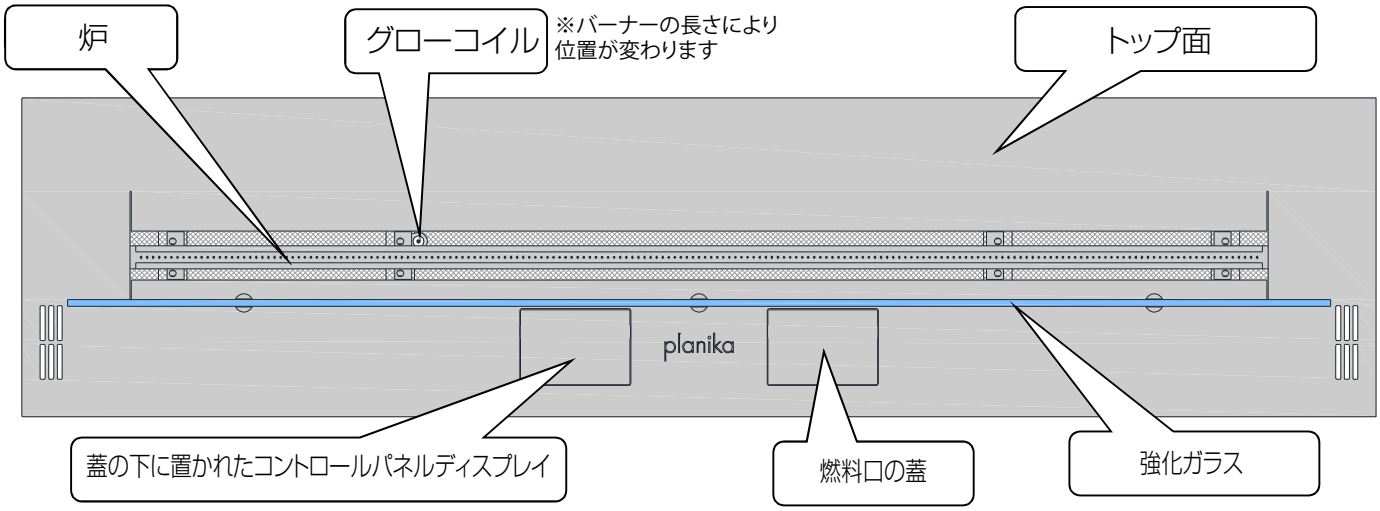
10)シリアル番号
リモコンを選択して「 - 」ボタンを押すと、ディスプレイパネルに本体のシリアル番号が表示されます。

11)ソフトウェア
ソフトウェアを選択して「 - 」ボタンを押すと、ディスプレイパネルにインストールされているバージョンが表示されますソフトウェア。

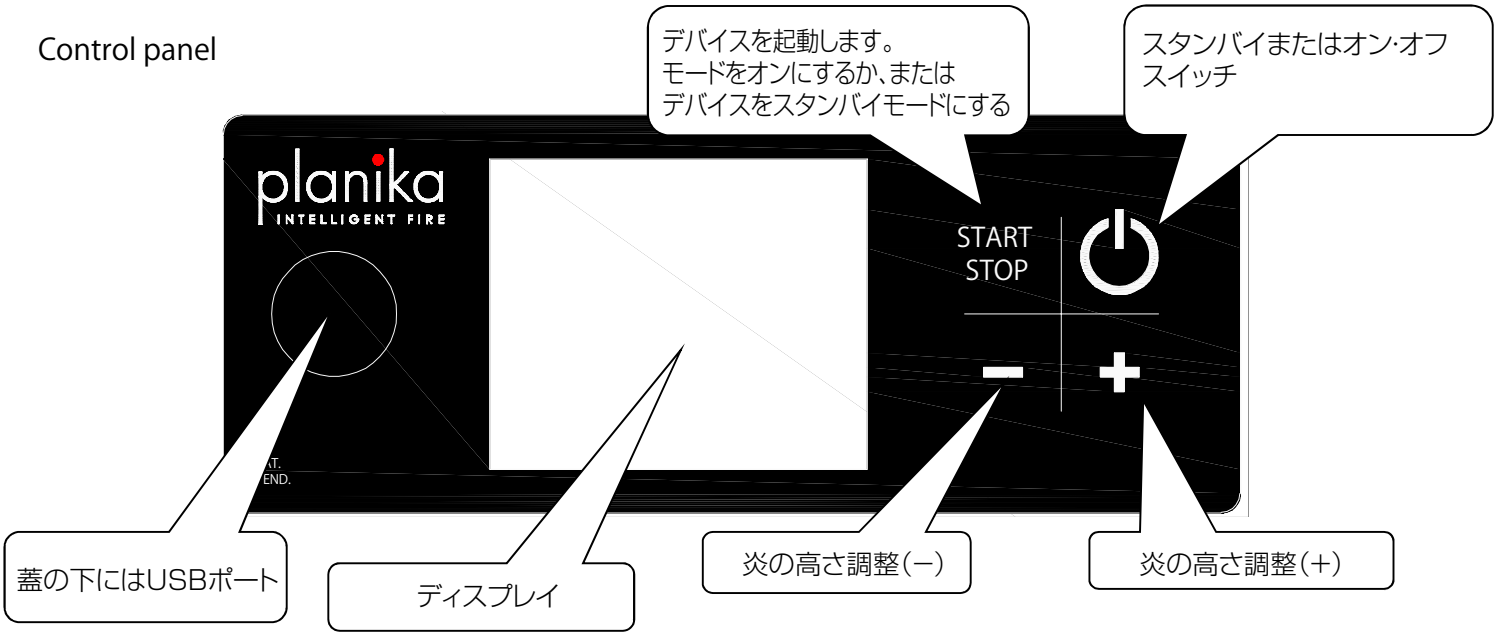
12)ヒストリー
履歴を選択して「 - 」ボタンを押すと、ディスプレイパネルには、デバイスからの最後の25個のメッセージが表示されます。

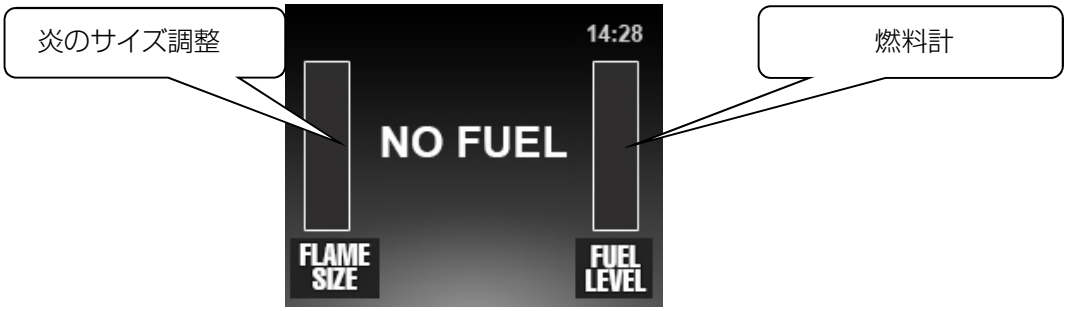
III
操作
スマートフォン、タブレットなど、Wi-Fiアクセスが可能なデバイスで動作するように製品が調整されています。
もしそのようなデバイスでFLA３XLをコントロールしようとしている場合は、第II部、2)WIFICONFIG。

1)操作について



Control panel

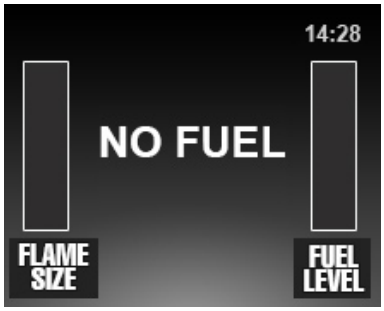




2)装置の起動

I.ボタン が点灯している場合、デバイスはメインに正しく接続されています。

II.コントロールパネルのボタン を押すと、イントロ画面が表示されます。



III。NO　FUEL - 燃料不足。FLA3XLに燃料を補給するには、次の手順に従ってください:

III.A燃料フィラーのふたを開ける。

ディスプレイ上のメッセージは次のように変わります:

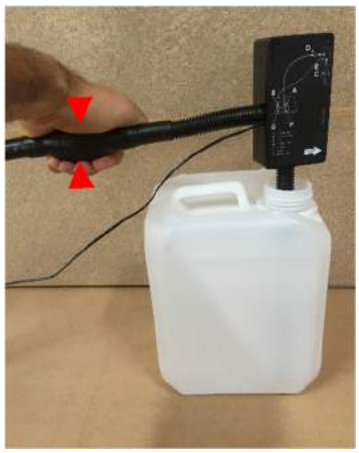
III.B　付属の自動燃料ポンプの、燃料ホースコネクタ（フレキシブルホース）をマッチングソケット（赤丸個所）に差し込みます。

2番目の小さい方のソケットに電源コネクタを差し込みます。

III.C　自動燃料ポンプのスティッフロッドを燃料タンクに挿入してください。
それから燃料は
FLA３XLに汲み上げられます。

注意）燃料タンクはお客様でご用意してください。

III.D　燃料タンクにポンプを差し込みましたらフレキシブルホース途中の圧搾手動ポンプ部分を握りポンプを作動させます。通常1～2回圧搾すれば作動しますが作動しない場合は何度かお試しください。自動ポンプが作動しましたら燃料がなくなるかFLA3XL内タンクが満タンになると自動的にポンプは停止します。



III.E　次の場合、自動給油が中止されます。
　III.E.1 FLA3#4の燃料タンクが
いっぱいです。このメッセージがディスプレイに表示されます:

電源コネクタを外します。燃料ホースコネクタを持ち、金属表面を押します。その下に赤い丸で囲まれたマークがついています。
コネクタが解放されます。

解放された後にホース内に燃料がまだ存在することがありますのでご注意ください。
燃料フィラーの蓋を閉じます。
ザディスプレイにREADYメッセージが表示されます。
デバイスを起動する場合は、項目IV。
III.E.2燃料給油を 途中で終了したい場合は、電源コネクタを取り外します。
燃料ホースを保持するコネクタの下の金属面を押してください（赤丸で丸印）。コネクタが解放されます。
燃料がまだホース内に存在する可能性があることに注意してください。
燃料フィラーの蓋を閉じます。ディスプレイにREADYメッセージが表示された場合は、デバイスを起動する
準備が整います。
NO FUELメッセージが表示されている場合、または続行したい場合燃料補給は、項目 3.Aから順番に繰り返してください。

IV. メッセージがREADYに変わったら、デバイスを起動できます:- コントロールパネルのSTART / STOPボタンまたは
リモコンのSTARTボタンを押す。または設定されたデバイス上で実行できます。

警告! 電熱コイルは1300℃まで加熱し始め、それに触れると、重度のやけどを引き起こします。

- チャイルドロック機能がオンになっている場合は、コントロールのSTART / STOPボタンを押し続けて解除する必要があります。
パネルまたはリモコンのSTARTボタンを3秒間押します。STARTを押すことも可能ですボタンをクリックします。
警告! 光るコイルは1300℃まで加熱し始め、それに触れます重度のやけどの因となります。

V. PLEASE WAITメッセージ - 装置が蒸気を発生させるのに十分な温度になるまでお待ちください。炎
を発火させる。

VI。WORKINGメッセージ - デバイスが動作しています。

3) 炎のサイズ

4) 装置は最初、4番目の炎サイズレベルで起動します
5) リモコンの "+"または " - "ボタンを押すか、コントロールの "+"または " - "ボタンを押してフレーム
サイズを調整してください。パネルまたは設定されたデバイス上に表示されます。
6) ディスプレイ上のフレイムサイズインジケータは、選択した炎のサイズを知らせます。

4) スリープ機能

ディスプレイには、「+」と「 - 」ボタンを数秒間同時に押せば、その画面が出てきます。

'+'ボタン(3時間以内)を使用して希望の時間を選択し、' - 'ボタンで確定します。
警告! SLEEP機能がオンになっているデバイスは、監視なしで放置することはできません。

5) 本体の消灯

コントロールパネルのSTART / STOPボタンまたはリモコンのSTOPボタンを押すか、wifi接続デバイスのstopボタンを押してください。
WORKINGメッセージがデバイスの冷却に変わります。

6) OFF後の本体の再起動

NO FUELメッセージがディスプレイに表示されます - このマニュアルのポイント3の手順を開始してください。
READYメッセージがディスプレイに表示されます - このマニュアルのポイント4のように手順を開始します。

7) スイッチオフ

本体の電源を完全に切るには、コントロールパネルの赤いボタンを押します。

警告!

次の場合、本体は自動的にシャットダウンします。
•燃料が燃え尽きる(「NO FUEL、装置が冷却されたときの嫌な匂い」のメッセージが変化する

•本体の温度が高すぎる(本体の温度が高いというメッセージ)
情報!温度が臨界レベルに近づいたときに突然のスイッチオフを避けるために、
炎サイズは50%に縮小されます。このデバイスは炎のサイズを大きくする機能を制限します。

本体の温度が上昇した場合、電源はオフになります。温度が一旦低下すると再び点火が可能になります。
下記の要件でも電源はオフになります。

•デバイスが移動したか、または耐震ショックを感知した（デバイスの冷却。デバイスヒットメッセージ）
•デバイスが傾いている（デバイスをクーリングしています。デバイスが傾いています）
•室内の二酸化炭素の安全レベルが超過している（装置の冷却にCO2レベルを超えるHIGHメッセージ）
•ERRORメッセージを引き起こすその他の発生が起こる。

8）情報と警告アラート

No message, button is lit	主電源	本体の操作を開始するには、コントロールパネルで行なってください リモコンでは作動しません。
READY	準備	表示ポイント3からスタートし、ポイント4から燃料を補給することができます。本体を起動してください。
NO FUEL	燃料タンクは空です	マニュアルに従って燃料を補給してください。
Refueling Please wait	給油をお待ちください	自動燃料ポンプを接続し、ユーザーズマニュアルのp.3をご覧ください
Reservoir Full Disconnect fuel hose Close the lid	燃料タンクが満杯です。	燃料が満タンになったら燃料ホースを外し、給油口のフタを閉じます。
PLEASE WAIT	準備完了·お待ちください	炎が立ち上がるのをお待ちください
WORKING	稼働中です	本体の側には監視する人を置いてください
WORKING TEMPERATURE TOO HIGH	本体稼働中 本体温度が高くなっています	炎のサイズは安全の為に50%に縮小されます。 本体から離れないでください
NO FUEL REFUEL WHEN THE DEVICE IS COOLED	燃料が空になりました 燃料を再補給するためには 本体を冷やしてください	デバイスにNO FUELメッセージが表示されるまでお待ちください。 そのときだけ、燃料を補給することができます。 ポイント番号。ユーザーズマニュアル3
COOLING THE DEVICE	本体を冷却中です	機器を冷却する為冷却用ファンが作動します。機器がクールダウンするまでお待ちください。メッセージがREADY（準備）に変わりましたら操作可能となります。
COOLING THE DEVICE TOO HIGH	許容可能な本体動作温度を超えています。	機器を冷却する為冷却用ファンが作動します。機器がクールダウンするまでお待ちください。メッセージがREADY（準備）に変わりましたら操作可能となります。
COOLING THE DEVICE DEVICE HIT	衝撃がありました	機器を冷却する為冷却用ファンが作動します。機器がクールダウンするまでお待ちください。メッセージがREADY（準備）に変わりましたら操作可能となります。再稼働する場合は外観に損傷·異常がないかご確認して頂いてから操作ください。損傷·異常があった場合はご使用をお控え下さい。

COOLING THE DEVICE DEVICE TILTED	本体を冷却しています 本体が傾斜しています	機器を冷却する為冷却用ファンが作動します。機器がクールダウンするまでお待ちください。メッセージがREADY（準備）に変わりましたら操作可能となります。再稼働する場合は機器が水平に置かれているかを確認してから操作ください。
COOLING THE DEVICE CO2 LEVEL TOO HIGH	二酸化炭素の濃度が超過しています	室内の二酸化炭素濃度が低下するまで待ちます。 窓や扉を開けて換気してください。
ERROR 01	燃料のこぼれや漏れを検出しました。	本体の電源を切ります。目に見えるこぼれや漏れを拭きます。 少なくとも1時間は再度電源を入れないでください。 再起動後でも表このメッセージが示されている場合は、長時間本体電源をオフにしてください。これで問題が解決しない場合は、SERVICEに電話してください。
ERROR 02	ヒーターの誤差温度センサー。	コントロールパネルの赤いボタンを使用してデバイスの電源を切ります。しばらくしてから電源を入れてください。メッセージが消えない場合サービスまで連絡してください。
ERROR 03	炉の誤差温度センサー。	
ERROR 04	貯水槽の誤差温度センサー。	
ERROR 05	ムーブメントセンサー作動する。	振動センサーが作動しました。 振動が収まればエラーは消えます。
ERROR 06	燃料レベルの誤差。	コントロールパネルの赤いボタンを使用して本体の電源を切ります。 しばらくしてから電源を入れてください。メッセージが消えない場合サービスまで連絡してください。
ERROR 10	ヒーターが損傷しています。	コントロールパネルの赤いボタンを使用して本体の電源を切ります。 しばらくしてから電源を入れてください。メッセージが消えない場合サービスまで連絡してください。
ERROR 14	制限スイッチ	サービスまで連絡ください
ERROR 15	装置が傾いています	コントロールパネルの赤いボタンを使用して本体の電源を切ります。 本体装置の表面を水平にしてください
ERROR 16	温度の超過ヒーターセンサー。	コントロールパネルの赤いボタンを使用して本体の電源を切ります。 しばらくしてから電源を入れてください。 メッセージが消えない場合エラーサービスまで連絡してください。
ERROR 17	待ち時間を超過しました	
ERROR 20	温度が低すぎます。	赤いボタンを使って本体の電源を切り、再起動してみてください。
ERROR 21	異常温度	赤いボタンで本体の電源を切り、冷却するまで待ちます。 その後本体を再起動してください。
ERROR 31	燃料零れ	赤いボタンで本体の電源を切って、少なくとも1時間待ちます。 本体を再起動します。メッセージが消えない場合水分が完全に蒸発するまでお待ちください。
ERROR 32	メイン燃料ポンプの問題	コントロールパネルの赤いボタンを使用してデバイスの電源を切ります。 しばらくしてから電源を入れてください。メッセージが消えない場合サービスに連絡してください
ERROR 33	燃料給油口が空いています	燃料フィラーの蓋を閉じ、装置が冷えるまで待ってからもう一度点火します。 メッセージが消えない場合はSERVICEに電話してください。

IV 本体のお手入れ

クリーニングの前に本体の電源を切ってください。本体の温度が周辺の温度に近づくまで待ちます
本体の適切な技術的条件を維持するために、以下の規則を遵守してください。

•炉の粉体塗装は耐摩耗性がありません。炉をソフトで清掃して、クラックや傷がつかないようにしてください。

メーカーの推奨事項。
許可されていない人が装置の内部を清掃することは禁じられています。
製造業者は、通常清掃する必要が無い場所を清掃する事はおやめください。

製造元は、次の原因による損害については責任を負いません。
•不適切な操作（ユーザーズマニュアルに含まれている規則に従わない）
•自己解体
•変更を試みる
•推奨されている液体以外の液体を使用する。

V 燃料

装置の安全を確保するために、リーベンのバイオエタノール燃料を補充する必要があります
推奨燃料以外はご使用されないようにお願いいたします。
詳細については、製造元にお問い合わせください。

他の燃料の使用は厳重に禁止されています。他の燃料を使用された場合
当社は一切の責任を負いません。

推奨以外の燃料（すなわち、脱水装置および/または96.6%を超えるエタノールを含む超精製エタノール
ボリューム）または上記の特性を満たさないその他のもの。

VI 廃棄およびリサイクル

国、地域の法規に従い廃棄してください。

VII サービス

技術的な問題やご質問がございましたら、お気軽に販売店に連絡をお願いいたします。

planika
INTELLIGENT FIRE

CE 品質

Brzoza 21.02.2017

EC適合宣言書

The two final digits indicate the year of the CE marking – 17
001 / FLA / 17

Planika Sp. z o.o.
ul. Bydgoska 38; 86-061 Brzoza; POLAND

We declare that our FANOLA ® fueled product identified as:

Product family:	PLANIKA fireplaces
Product type:	FireLineAutomatic (FLA)
Model:	FireLineAutomatic 3#4.1 L = 690 – 2490 V-S; V-L; V-M; V-R FireLineAutomatic XT#1.1 L = 690 – 2490 V-S; V-L; V-M; V-R FireLineAutomatic 3#4.1-XL L = 690 – 2490 V-S; V-L; V-M; V-R Chili Fire#1

fulfils the essential requirements of the following directive:

fulfils the essential requirements of the following directive:
2001/95/EC DIRECTIVE OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL on general product safety.
2004/108/EC EMC DIRECTIVE OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.
2006/95/EC LVD DIRECTIVE OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL on the harmonisation of the laws of Member States relating to electrical equipment designed for use within certain voltage limits.
and fulfils the requirements of the following standards and harmonized standards:
EN 60335-1:2012 + AC/2012 + A11:2014 Household and similar electrical appliances. Safety. General requirements.
EN 60335-2-102:2006+A1:2010 Household and similar electrical appliances. Safety. Particular requirements for gas, oil and solid-fuel burning appliances having electrical connections.
EN 55014-1:2012 Electromagnetic compatibility. Requirements for household appliances, electric tools and similar apparatus. Emission
EN 55014-2:2015 Electromagnetic compatibility. Requirements for household appliances, electric tools and similar apparatus. Immunity. Product family standard.
EN 61000-4-2:2011 Electromagnetic compatibility (EMC). Testing and measurement techniques. Electrostatic discharge immunity test.
EN 61000-4-4:2013 Electromagnetic compatibility (EMC). Testing and measurement techniques. Electrical fast transient/burst immunity test.
EN 61000-4-5:2014 Electromagnetic compatibility (EMC). Testing and measurement techniques. Surge immunity test.
EN 61000-4-6:2014 Electromagnetic compatibility (EMC). Testing and measurement techniques. Immunity to conducted disturbances, induced by radiofrequency fields.
EN 61000-4-11:2007 Electromagnetic compatibility (EMC) - Part 4-11: Testing and measurement techniques - Voltage dips, short interruptions and voltage variations immunity tests.
EN 61000-3-2:2014 Electromagnetic compatibility (EMC). Limits. Limits for harmonic current emissions (equipment input current ≤ 16 A per phase).
EN 61000-3-3:2013 Electromagnetic compatibility (EMC). Limits. Limitation of voltage changes, voltage fluctuations and flicker in public low-voltage supply systems, for equipment with rated current ≤ 16 A per phase and not subject to conditional connection.
This EC declaration of conformity is issued upon positive results of tests conducted by Electron Technology Institute, Predom division in Warsaw (Instytut Technologii Elektronowej oddział Predom w Warszawie), which is also a notified authority 1451 – report no. BS-4/141/EMC/16 and Oil and Gas Institute (Instytut Nafty i Gazu "INiG") in Cracow – report no. 3027 E2 16.
The document along with the technical documentation is a basis for a product signage.

Jarosław Dąbrowski
PREZES ZARZĄDU
PRESIDENT OF THE MANAGEMENT BOARD
(Signature)
Jarosław Dąbrowski

Brzoza, 21.02.2017

(Location and date of issue)

Planika Sp. z o.o.
ul. Bydgoska 38
86 - 061 Brzoza
POLAND

planika
INTELLIGENT FIRE

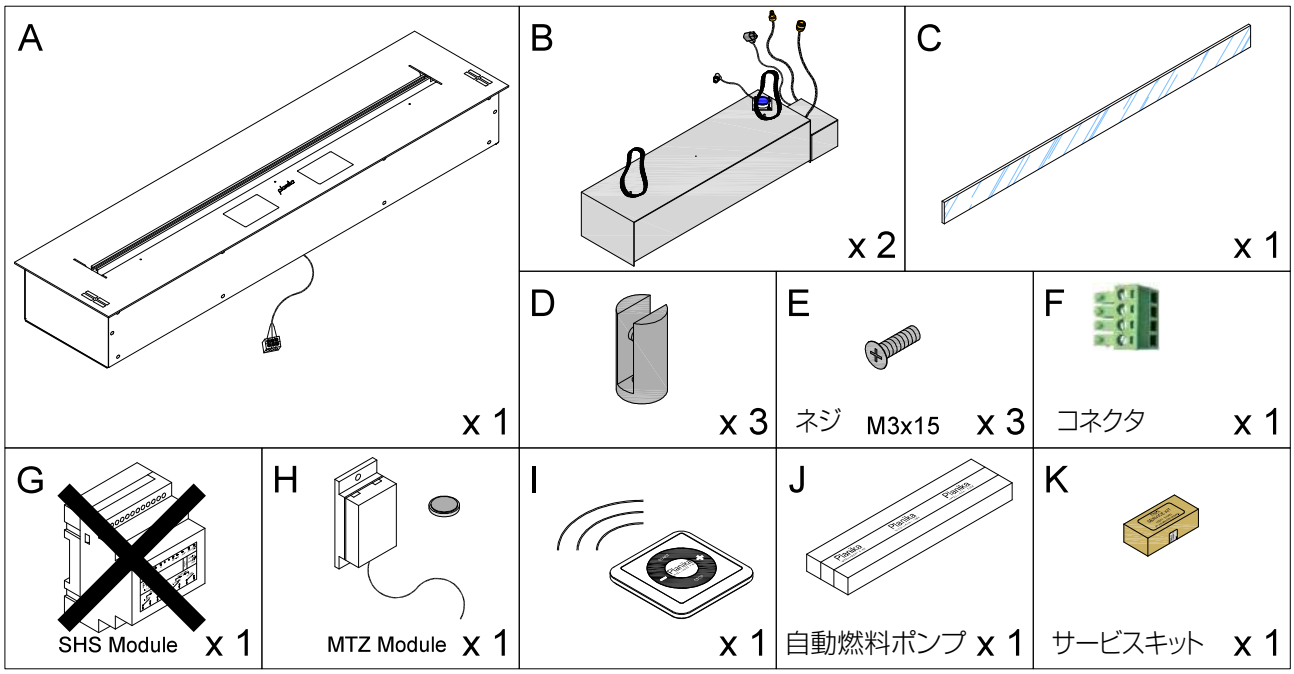
www.planikafires.com

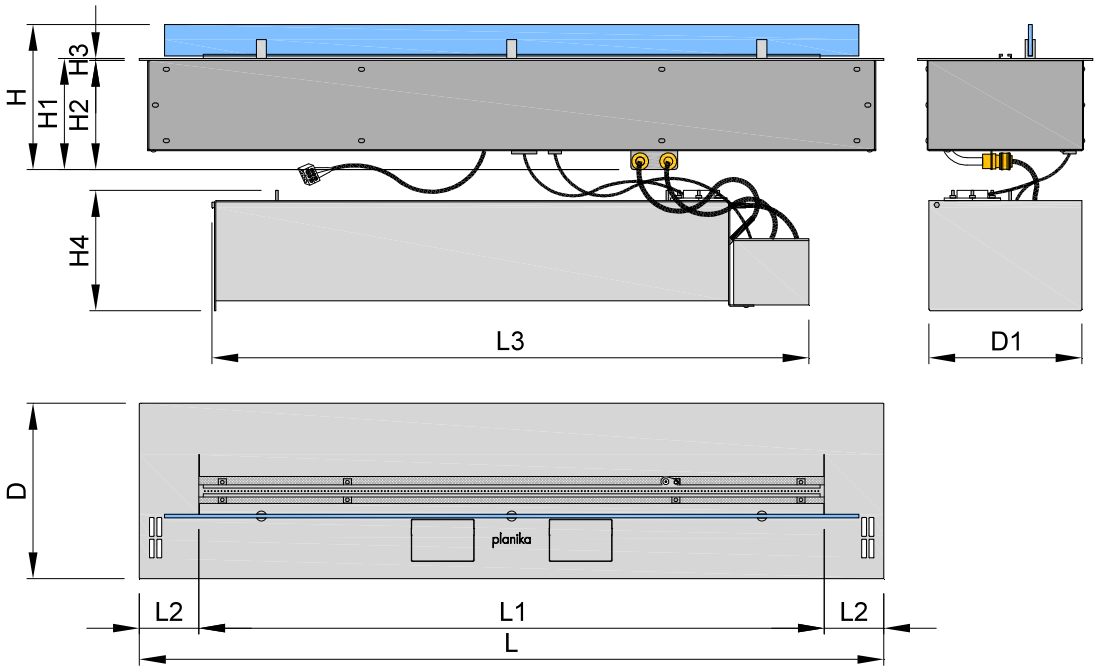
tel. +48 52 364 11 60
fax +48 52 364 11 70
planika@planikafires.com
www.planikafires.com

Copyright Planika Sp. z o.o. www.planikafires.com 20

設置マニュアル

FLA 3#4 XL L=1190 V-S





Device	
	[mm]
H	**232**
H1	**178**
H2	**175**
H3	**3**
L	**1190**
L1	**1000**
L2	**95**
D	**280**
Tank	
	[mm]
H4	**192**
L3	**954**
D1	**245**

•以下の容積の場所には設置しないでください。
178 m3以下 / 6286 ft3（68 m2 /732フィート2、高さ2.6m / 8.53フィート）。

•風吹き込む場所、ファン、通気口などの近くに本体を設置しないでください。

•爆発の危険性がある場所に置かないでください。（蒸気、産業粉塵などの近く）

•可燃物を直接接触させたり、本体から半径1m / 3.28以内に置かないでください。
カーテン、ネットカーテンなどの近くには設置しないでください。

•屋外使用はしないでください。この製品は、屋内での使用のみを目的としています。

•湿度の高い場所に本体を近づけないでください。

•二酸化炭素（CO2）または乾式化学消火器を本体の近くに常備しておいてください。

•本体は取り外しができます。

•本体を設置する部屋には効率的な換気が必要です。
1時間に少なくとも1回は室内での空気交換を行なってください。

•完全に取り付けが終わるまでは本体を起動しないでください。

•製品を完全に設置する前に、燃料タンクを満たさないでください。

•部屋に複数のユニットを取り付ける場合、最小の必要容積は、各ユニットに必要な容積の和になります。

•換気ギャップと冷却ファンを覆わないでください。

•バーナーに製品を置くことは禁じられています。

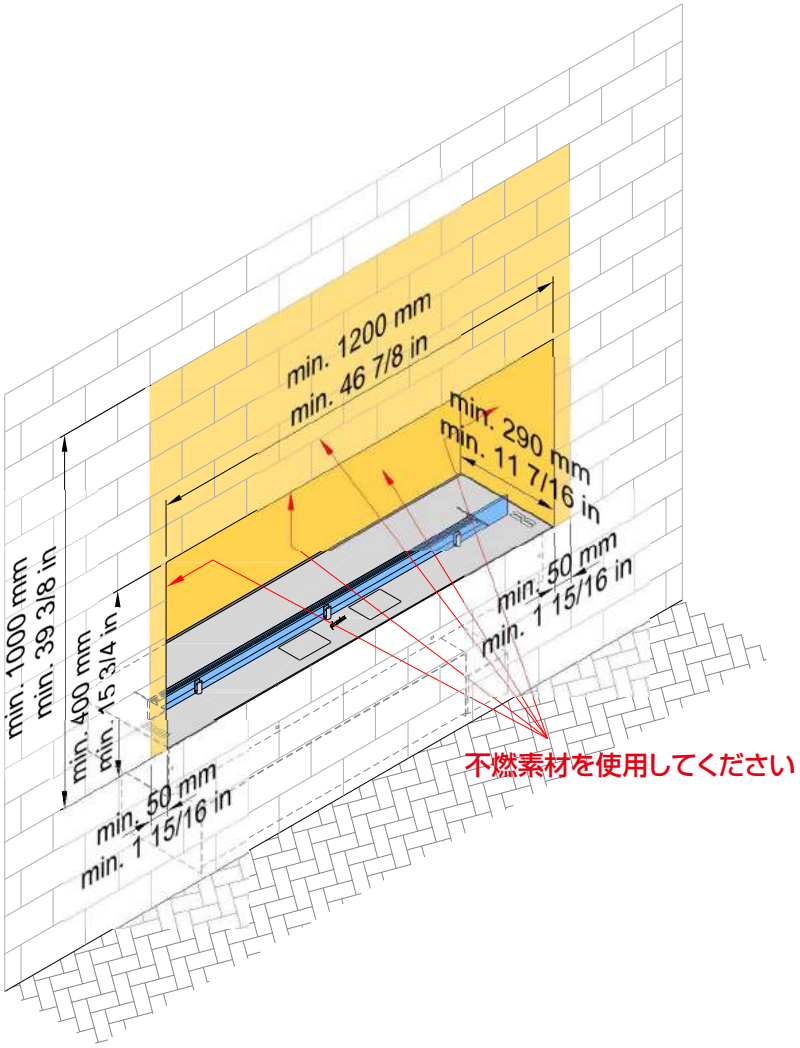
•本体は、子供、動物、許可されていない人の手の届かないところに保管してください。

•本製品を移動体（例：自動車、ヨット）に設置しないでください。

設置

警告! 別途スチールケーシングを購入した場合は、ケーシングに付属の取扱説明書。もご覧ください。-

-バーナーの上に置かれる建築素材、その他の物は非引火性材料でなければなりません
- 暖炉の設置場所は密閉されていなければなりません。
- 炉の上に覆いがある場合は、非可燃性材料で作られていなければならず、炉からの最短距離は40 cm / 15¾in以上に保たなければならなりません。
- 準備された壁のくぼみまたは他のハウジング/キャビティに入れる前に本体に点火(燃料補充)させないでください。

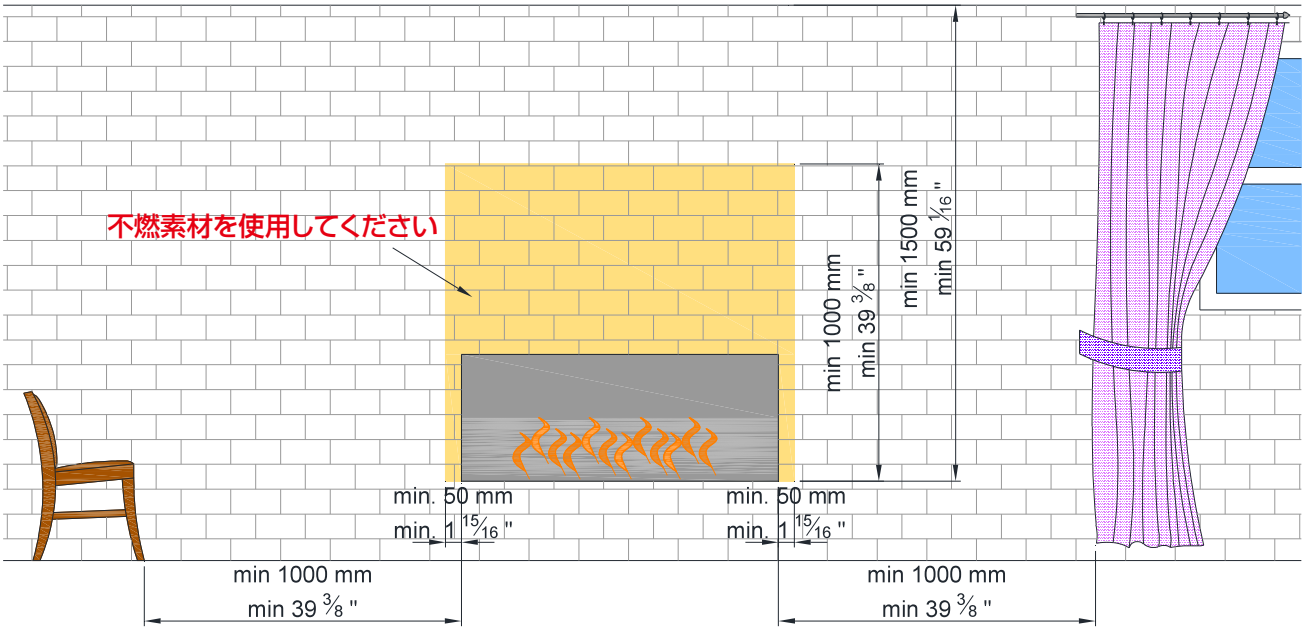


安全の為下記事項に留意してください。

引火性物質を暖炉から半径1m以内に置くことを禁じます。
そのような場所に本体を設置する事も禁じます。

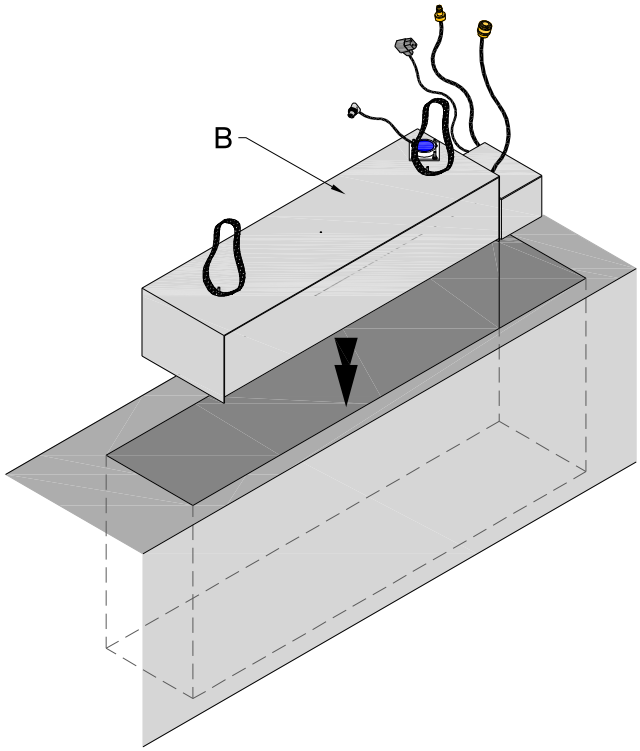
上記の範囲内に物を置かれた場合、そのものも寿命も縮まる可能性があります。

その場合弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。



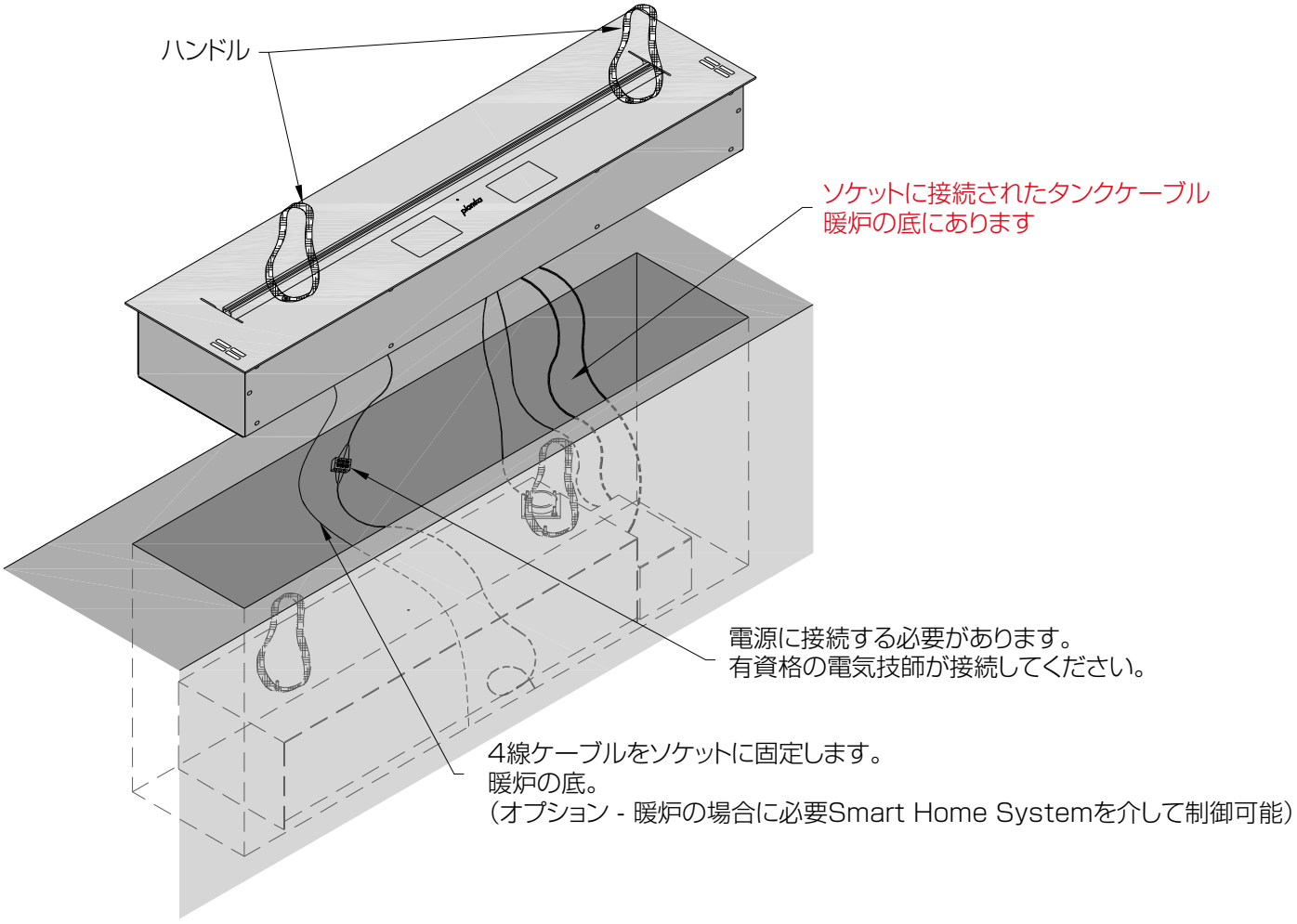
Copyright 2017 Planika Sp. z o.o. www.planikafires.com i1213#00 20.02.2017

外部燃料タンクBを置きます

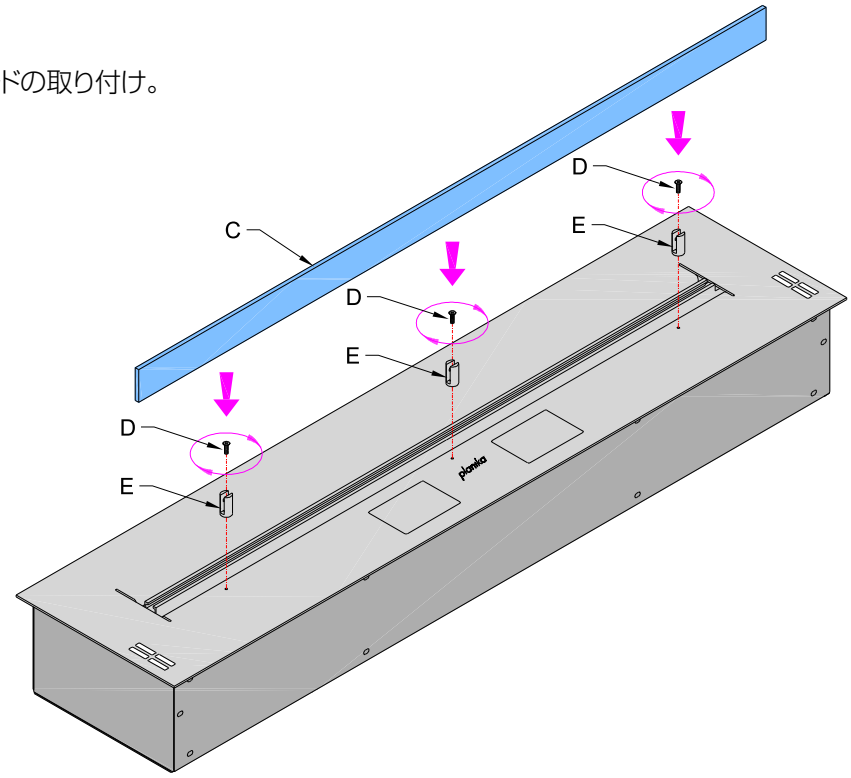


タンクのリード線を暖炉の底にあるソケットに接続します

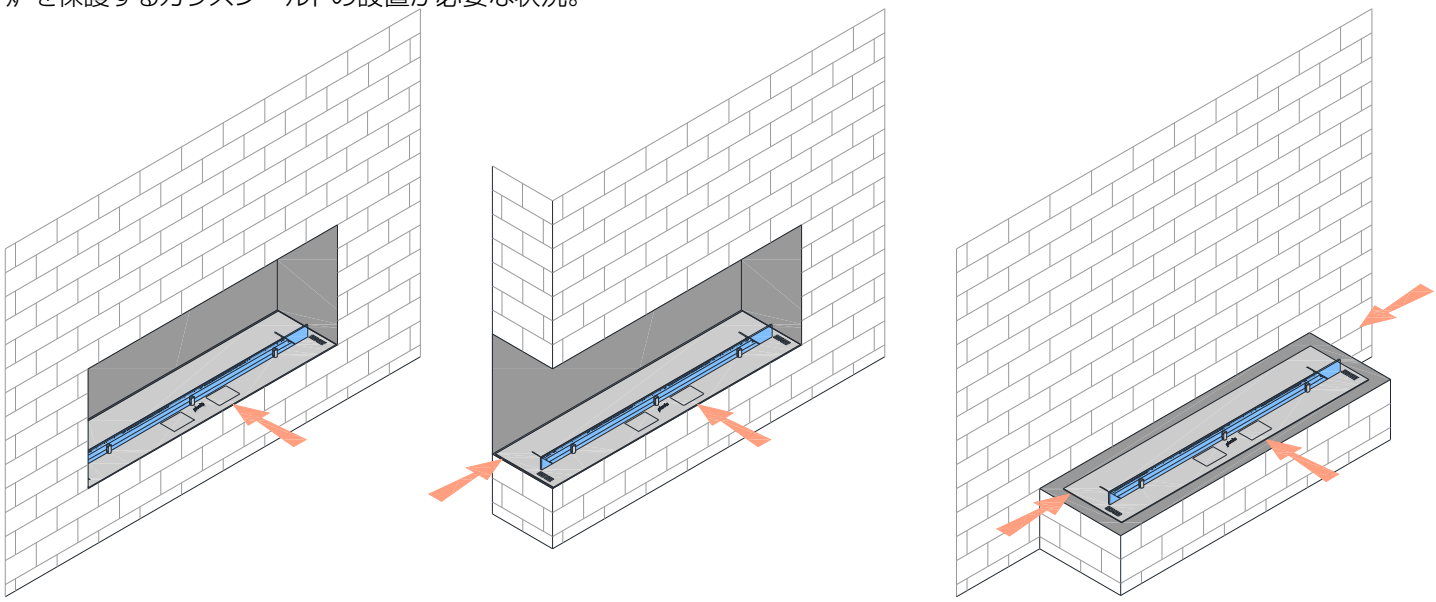
次に、付属のコードの端に接続ブロックがあるケーブルを接続してください。主電源への接続は、資格のある電気技師が行なってください。
接続されたバーナーは、付属のハンドルを使用して空洞内に配置できます。
本体を起動する前に必ずハンドルを取り外し、保管しておいてください。
再度脱着の際に必要です。



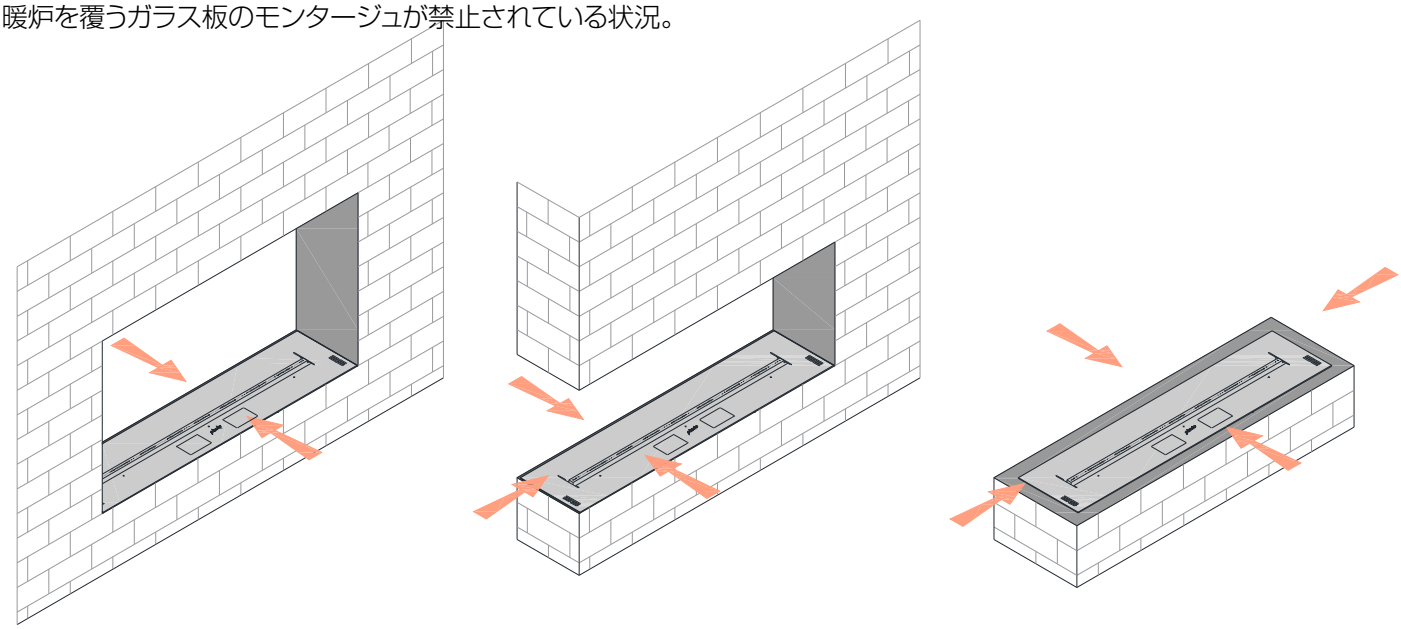
ファーネスガラスシールドの取り付け。



炉を保護するガラスシールドの設置が必要な状況。



暖炉を覆うガラス板のモンタージュが禁止されている状況。



automatic inserts

FLA3

設置・注意点

離隔距離

当製品は屋内専用モデルです。暖炉の半径1メートル以内に可燃物を置かないでください。
設置する壁の構造は不燃材で構築し、間柱も軽鉄で組んでください。
詳しくは説明書内部でご確認ください。

設置

必ず水平な場所に設置してください。
暖炉の重量に十分耐えうる構造にしてください。

注意

·燃焼中は子供やペットを近づけないでください。
·暖炉で洗濯物を乾かしたり、料理をしたりしないでください。
·燃料はリーベンバイオエタノール燃料をお使いください。
　絶対に他の燃料は使わないでください。
·燃料が零れたら絶対に着火させないでください。
　着火させる場合は完全にふき取ってからにしてください。
·燃焼中は絶対に本体やガラスに触れないでください。
·消火後1時間は本体やガラスに触らないでください。
·燃焼中1時間に1度は換気をしてください。
·設置に関しては各地方自治体の火災予防条例に従ってください。
·必ず取扱説明書を読んで正しくお使いください。
·使用は自己責任でお願いいたします。
·いかなる場合でも暖炉本体以外の保証は致しません。
·燃焼中は必ず大人が監視してください。
·暖炉のそばには消火器を置いてください。
·バイオエタノール暖炉は暖房器具ではありません。

保証について

保証期間2年（商品設置後）

いかなる場合におきましても製品以外の保証は致しかねます。
お客様の故意、又は不注意による破損は保証の対象外です。
推奨燃料以外の燃料を使用された場合には保証の対象外です。

planika
INTELLIGENT FIRE

planika日本総代理店
リーベン株式会社
福岡市中央区薬院 4-5-23
LEBEN